

2025年日本国際博覧会 災害時等対応マニュアル等策定支援業務事業者選定結果について

本事業について、公募型プロポーザル方式により事業者を募集し、下記のとおり最優秀提案事業者（契約候補者）を選定しましたので、お知らせします。

1. 審査手法

事業者（3者）から提案のあった内容について、5名の評価委員による審査を行い、契約候補者を選定いたしました。なお審査にあたっては、令和5年11月22日（水曜日）より企画提案書の書類審査（質疑応答書による質疑含む）を開始し、12月14日（木曜日）にオンラインによる評価委員会を実施し、評価委員による採点（100点満点）により決定しました。

2. 審査結果

(1) 最優秀提案事業者（契約候補者）

東京海上ディーアール株式会社 評価点 91点（提案金額 税込 8,658,155円）

(2) 全提案事業者（50音順）

- ・OSWS 共同企業体
- ・SOMPO リスクマネジメント株式会社・総合警備保障株式会社共同企業体
- ・東京海上ディーアール株式会社

3. 最優秀提案事業者の選定理由（講評）

- ・夢洲の立地やイベントの特性を前提に検討されており、また、個別事象についても具体的な提案となっているため、的確な業務遂行が期待できる。
- ・国際的な大規模イベントでの災害等マニュアル作成に関する実績が認められ、また、作成のプロセスにおける関連部署との連携も十分に認識のうえ、職員の意識醸成まで配慮されており、効果的な支援が期待できる。
- ・多くの機関が関係する際の課題を理解しており、また、現時点からの工程に合わせた具体的な支援内容も記載されていることから、細やかな支援が期待できる。
- ・業務実施体制についても充実している。

4. 選定委員会委員（50音順・敬称略）

所属・職名等	氏名	資格略歴等	選定理由・審査の観点
大阪市危機管理室 危機管理課長	木村 賢次	2023年4月 現職 2021年4月 経済戦略局スポーツ部大阪マラソン担当課長	行政において、会開催に向けた協議等に携わり、防災全般に携わっている立場から審査いただくため。
大阪府危機管理室 防災企画課長	城田 国昭	2023年4月 現職 2021年4月 総務部市町村課参事（河南町副町長）	行政において、会開催に向けた協議等に携わり、防災全般に携わっている立場から審査いただくため。
京都大学防災研究所 社会防災研究部門 防災社会システム研究分野 教授	多々納 裕一	2020～2023年 日本自然災害学会 会長 2019～2021年 都市計画審議会委員、国民保護協議会委員、 防災会議委員、流域治水推進審議会委員 2019～2020年 大阪湾港湾機能継続計画推進協議会委員	防災及びリスクマネジメント分野の豊富な知見から審査いただくため。
ヒヤマ・クボタ法律事務所 弁護士	檜山 洋子	-	法律の専門家の立場から、提案内容の適格性・妥当性を審査いただくため。
独立行政法人国立病院機構本部 DMAT事務局 次長	若井 聡智	-	災害医療に関する豊富な知見から審査いただくため。

（五十音順、敬称略）